公益社団法人日本青年会議所 関東地区 茨城ブロック協議会 2026年度 基本方針	
会員拡大連携委員会　委員長　北島　大輔	
現状把握	茨城ブロック協議会ではメンバー数が過去5年間で約40%減少し、在籍年数も短期化しています。特に入会後3年以内に卒業や退会するメンバーが多く、理念や存在意義が浸透しないまま離れてしまう状況です。その結果、拡大しても定着につながらず、事業の継続性が失われています。拡大の成果を組織に根付かせるには、入会後早期に理念を共有し、成長ややりがいを実感できる環境を整えることが必要不可欠です。
委員会 設置背景	茨城県内の各LOMではメンバー減少や若手会員の定着難が深刻化し、組織の活力が低下しています。各LOMそれぞれこのような課題を単独で対応するには困難なため、茨城ブロック協議会とともに会員拡大を協働で推進する体制を整える必要があります。
委員会 概要	1.各LOMの会員拡大に活かせる環境整備
	各LOMのメンバーが積極的に会員拡大へ取り組める環境をつくるために、茨城県内23LOMで共通して活用できる会員拡大ツールを作成し活用することで、メンバー一人ひとりが積極的に会員拡大しやすい環境を整備します。
	2. 会員拡大の伴走的実践による支援
	会員拡大を継続的に行っていけるようにするために、支援が必要なLOMに寄り添って相談会や訪問を通じて現場でともにに会員拡大を行うとともに、新入会員やシニアクラブのつながりを活かしながら会員拡大の成功体験を得られる環境を創出することで、各LOMが会員拡大を自走できるようにします。
	3. 会員拡大に対する士気の恒常的喚起
	県内全体で会員拡大の成果を底上げしていくために、日本青年会議所や日本JCシニアクラブ拡大支援委員会などの経験豊富な方々と協働して会員拡大に関する知見を拡げていくことで、拡大運動の質を高めて持続的な成果を創出します。
	4.最新状況を共有できるプラットフォームの提供
	県内全体での相互支援体制を強化するために、定期的に各LOMの拡大担当者を集めて拡大会議を開催し、情報交換、進捗報告、成功事例などの共有を行うことで、切磋琢磨しながらも会員拡大に前向きに取り組めるようにします。
委員会による LOM支援の 実施内容	・各LOMの状況に応じて拡大相談会を開催し、拡大候補者リストの作成支援や面談方法の研修を提供。 ・新入会員やシニアクラブを巻き込んだ拡大運動を仕掛け、必要に応じて現場訪問や例会に同行し、LOMと茨城ブロック協議会で会員拡大を推進。
1年間の成果	茨城県内のLOMが茨城ブロック協議会と連携する体制が確立され、会員拡大の成功事例や課題を共有できる仕組みが生まれ、その結果、各LOMの拡大活動に再現性が高まり、持続可能な茨城ブロック協議会となります。